

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじんきゅうしゅうこうきょうがくだん		団体ウェブサイトURL
	公益財団法人九州交響楽団		http://www.kyukyo.or.jp
代表者職・氏名	理事長 櫻井 文夫		
制作団体所在地	〒 814-0133	最寄り駅(バス停)	西鉄バス荒江四角停
	福岡県福岡市城南区七隈一丁目11番50号 末永文化センター内		
電話番号	092-822-8855		
ふりがな 公演団体名	こうえきざいだんほうじんきゅうしゅうこうきょうがくだん		団体ウェブサイトURL
	公益財団法人九州交響楽団		http://www.kyukyo.or.jp
代表者職・氏名	理事長 櫻井 文夫		
公演団体所在地	〒 814-0133	最寄り駅(バス停)	西鉄バス荒江四角停
	福岡県福岡市城南区七隈一丁目11番50号 末永文化センター内		
制作団体 設立年月	1953年(昭和28年)10月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	理事長 櫻井 文夫 副理事長 柴田 建哉 ほか2名 専務理事 柴田 耕志 ほか理事3名、監事2名、評議員13名		楽団員 62名 事務局員 17名 (令和5年10月1日現在)
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	営業担当/宮坂 奈津子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	事務局長/大野 寛
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	natsu.q104@kyukyo.or.jp		

制作団体沿革	<p>1953年創立。1973年に改組、のち財団法人化を経て2013年から「公益財団法人九州交響楽団」となり、九州の常設オーケストラとしてアジアの交流拠点都市“福岡”に本拠地を置く。アクロス福岡での定期演奏会をはじめ、天神でクラシック、名曲・午後のオーケストラの自主公演の他、青少年向けのコンサート、オペラやバレエ、合唱との共演、ポップス、映画音楽、ファミリーコンサートなど内容は多岐に渡り、福岡県を中心に九州各地で年間約150回の演奏活動を行っている。2013年小泉和裕が音楽監督に就任後「ベルリオーズ／幻想交響曲」、「ベートーヴェン／交響曲第9番」、「マーラー／交響曲第8番《千人の交響曲》」「マーラー／交響曲第3番」のCDを発売。これまでに、福岡市文化賞、西日本文化賞、文部大臣地域文化功労賞、福岡県文化賞を受賞。東京2020オリンピック競技大会閉会式のアトラクション用楽曲に、九州交響楽団演奏の『武満徹／「波の盆」』が使用された。</p>		
学校等における公演実績	<p>令和5年度 文化庁「舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)」:8公演【予定】</p> <p>令和4年度 文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」-巡回公演事業-5公演 文化庁「子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業」:5公演</p> <p>令和3年度 文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」-巡回公演事業-10公演 文化庁「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」:3公演</p> <p>令和2年度 文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」-巡回公演事業-7公演 文化庁「子供のための文化芸術体験機会の創出事業」:9公演</p> <p>令和元年度 文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」-巡回公演事業-9公演</p> <p>平成30年度 文化庁「文化芸術による子供の育成事業」-巡回公演事業-9公演</p>		
特別支援学校等における公演実績	<p>文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」-巡回公演事業- 宮崎県立みなみのかぜ支援学校 令和元年 6月21日(金)</p> <p>公益財団法人福岡県市町村振興協会「中学生の未来に贈るコンサート(室内楽公演)」 <直近1年> 福岡県立古賀特別支援学校 令和4年 9月16日(金) 福岡県立福岡特別支援学校 令和4年10月19日(水)、20日(木) 福岡県立牟田特別支援学校 令和4年11月24日(木) 福岡県立小倉聴覚特別支援学校 令和5年 1月20日(金) 福岡県立古賀特別支援学校 令和5年10月24日(火)【予定】 福岡県立田主丸特別支援学校 令和5年11月20日(月)【予定】 福岡県立福岡聴覚特別支援学校 令和5年11月21日(火)【予定】 福岡県立大牟田特別支援学校 令和5年11月22日(水)【予定】</p>		
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://www.youtube.com/watch?v=vl2tLmB8zds	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	無
		PW:	無

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～10時	14時～15時40分	15分	15時40分 ～17時10分	17時10分

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	0日	0日	0日	4日	4日	
	11月	12月	1月	計	9日	
	1日					

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	ステージを設置した上で体育館に収容可能人数であれば制限無し
		鑑賞人数目安	ステージを設置した上で体育館に収容可能人数であれば制限無し

- ・体育館フロアに舞台を設置しステージの前列からひな壇を組みます。
- ・設置舞台は、幅約18m×奥行約9m、指揮台と最前列の間は2mです。
- ・楽器ケースを置く長テーブルを体育館の両脇に長机を各5～6台設置します。
- ・その他、空きスペースに大型楽器ケースや備品運搬用カーゴを置きます。



※生の演奏でオーケストラの迫力を体感！

公演に係る
ビジュアルイメージ
(舞台の規模や
演出がわかる写真)

※採択決定後、図
面等の提出をお願い
します。



※指揮者体験コーナー♪



※打楽器でオーケストラと共演🎵



※校歌をオーケストラの伴奏で合唱🎵

【公演団体名 公益財団法人九州交響楽団】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	ステージを設置した上で、体育館に収容可能人数であれば制限ありません。
ワークショップの実施形態及び内容	<p>【鑑賞指導】</p> <p>1 『ドレミの“いろは”』 「本公演を100倍楽しむ！」ための『聴き方』を学ぶ。 「ドレミファンタジド」の呼び方が国によって異なるなど、「音の構成」や、色々な「音階」を演奏を交えながら説明する。</p> <p>2 『音楽の基本』 これを知ると、クラシックのみならずポップスや童謡、唱歌まで音楽がおもしろくなる！ 音楽は大きく分けると、「メロディ」、「ハーモニー」そして、「拍子やリズム」で成り立っていることを説明する。演奏を聴いてもらい、「メロディ」に「ハーモニー」が加わり、そして「リズム」に乗って音楽が進行する仕組みを感じてもらおう。 また、「拍子やリズム」について、身近なもの（例えば、時計の秒針や心臓の鼓動）を使ってリズムを説明し、その最小単位の拍が一定数集まってできたものが拍子である事を分かりやすく説明する。同じ拍子でもテンポや作曲家の個性で音楽の雰囲気が大きく異なる事を演奏を通して感じてもらう。本公演では様々な拍子の作品を聞いてもらい、その違いを更に体験してもらう。</p> <p>【実技指導】</p> <p>1 『指揮体験』練習 当楽団オリジナル制作の「お手本DVD」を見ながら拍子やリズム、指揮方法を説明し、ピアノと弦楽器等を指揮して指揮練習をする。本公演ではオーケストラを指揮する事を説明する。「お手本DVD」を実施校へ貸与し、本公演までの練習の教材としてもらう。</p> <p>2 『打楽器共演』練習 本公演での共演曲を聴いてもらい共演のイメージを膨らませたうえで、基本的なリズムや掛け合い演奏を分かりやすく説明し共演の練習をする。児童生徒の中から数人に前へ出てもらい、パート毎に部分練習を何度か繰り返す。ワークショップの最後には「練習用映像」に合わせて演奏し更に共演のイメージを膨らませてもらう。前へ出ていない児童生徒にはボディーパーカッションで練習に参加してもらう。</p>		
ワークショップのねらい	<p>これまでクラシック音楽や生のオーケストラに直接触れる機会が少なかった児童生徒たちに興味を持ってもらえるよう、プロの演奏家が分かりやすく楽しいお話を交えながら『鑑賞指導』をする。「本公演を100倍楽しむ！」ために、色々な種類の“音階”を説明したうえで曲を聴いてもらいその特徴を感じてもらおう。また、“音楽の基本”を分かりやすく説明し、「メロディ」のおもしろさや「ハーモニー」の不思議、「リズム」の仕組みを演奏を聴いて感じてもらう。</p> <p>『実技指導』では、音楽や楽器に興味を持ってもらうと共に、自由な発想やアドリブ的な演奏で児童生徒の想像力を育て、また、継続したグループ練習の中でチームワークの重要性を体感し、協調性やコミュニケーション能力を身に付けてもらう。本公演でその成果を十分に発揮し、プロオーケストラとの共演という貴重な体験を充実したものにする。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>特別支援学校でワークショップを実施する場合は、実施前に学校を訪問し児童生徒の状況を把握し無理の無いワークショップの内容や進行を検討する。過去の公演映像を参考に企画意図や公演内容、児童生徒参加プログラムを学校へ詳細に説明し学校の理解を得たうえでワークショップを実施する。必要に応じて、本公演での児童生徒の共演参加プログラムについて実施校と協議する。</p> <p>その他、ワークショップ参加人数や学校にある楽器の状況を事前に確認し、楽器の数が不足するような場合は、身近なものを打楽器に見立て出来る限り多くの児童生徒が共演練習に参加できるよう準備をする。また、児童生徒や派遣者の熱中症対策として、実施会場や環境について実施校と協議する。</p>		

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施す るための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢 「将来を担うすべての子供たちの豊かな感性を育む場を作り、芸術鑑賞能力の向上を図るとともに、文化的な地域格差の解消を促進する」という本事業の目的を念頭に置き、当楽団は企画にテーマを掲げ、企画意図を明確にし、ワークショップから本公演まで一貫性のあるテーマでプログラムを構成している。 共演プログラムについては、練習の成果を十分に発揮し、本公演でのプロオーケストラと共演という貴重な体験を充実したものにできるよう、ワークショップでその概要や当楽団オリジナル「お手本DVD」や「練習用映像」を有効に用いた練習方法を丁寧に説明し指導する。子どもたちの発想力や協調性、コミュニケーション能力の育成を図ることを目的とする。 本公演後半にはクラシック音楽の名曲をプログラミングする。児童生徒が理解しながら名曲を聴くことができるよう、特徴的な部分の分割演奏や作品のあらすじを分かりやすく説明したナレーションを交えることで、児童生徒の芸術鑑賞能力向上を図る。 令和6年度は、令和元年度に取り上げ、先生方からは子供たちに関心を持たせる取り組みへ感謝のお言葉をいただき、また、音楽評論家からも高評を得た(※別添Ⅲ【雑誌評】を参照)、ストラヴィンスキー／バレエ組曲「火の鳥」(1919年版)を再演する。令和3年度は、イブセンの戯曲「ペール・ギュント」のためにグリーグが作曲した劇音楽を、令和4年度は、バーンスタイン／「ウエスト・サイド・ストーリー」セレクションを、令和5年度は、ドヴォルザーク／序曲「謝肉祭」を取り上げた。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫 【事業全体】 企画のテーマや意図を始め、ワークショップ・本公演の実施内容、実施日程調整、会場環境確認、当日準備など実施校へ丁寧な説明を行う。実施校からの問い合わせに対しては迅速に対応し課題があれば改善策を講じる。実施日までのタイムスケジュールや状況確認など細目に連絡をとり、双方に懸念事項がないよう心掛ける。 具体的運用方法は、実施校への連絡や共有事項はメールやFAXで予め概要を伝え、たうで電話確認するなど、担当の先生に出来る限り負担をかけないよう心掛ける。異動等で応募時と実施時で担当の先生が変更になった場合は、それまでの経緯や進捗状況を説明し、実施までの準備が円滑に進むよう心掛ける。 また、学校巡回公演事務局への連絡事項はメール送信し、必要に応じて電話で補足説明する。事務局休業日に連絡事項が発生した場合は、経緯や履歴を共有するためにメールで第一報を伝え、後日電話で状況報告と補足説明する。</p> <p>【ワークショップ】 ワークショップの位置付けや本公演への繋がり、ワークショップの実施内容、事前学習や共演練習のための学校準備楽器、教材提供について実施校へ十分な説明を行う。 演奏曲やお話、手順、教材使用などについて進行台本を作成し、指導者・補助者が共通の認識でワークショップに臨み、スムーズに進行が行える体制を整えている。 本公演までに共演のための練習時間を割いて貰えるようお願いをする。共演練習を進める中で不明な点があれば、都度説明し必要に応じて楽団員から直接説明ができる体制を整えている。 ワークショップでの指導や本公演までの共演練習を考慮した上で、児童生徒の共演参加曲目については、楽団オリジナルの「お手本DVD」や「練習用映像」を制作し実施校に貸与する。</p> <p>【本公演】 本事業の企画テーマや意図、ワークショップ内容、ワークショップから本公演への繋がり、本公演の流れを楽団内で共有する。「進行台本」を作成し、指揮者をはじめ出演者、スタッフが共通の認識で本公演に臨み、スムーズに進行できる体制を整えている。 また、オーケストラやスタッフ、楽器運搬トラックの動きを記載した「タイムスケジュール」を事前に実施校へ提出し、情報共有を図ると同時に、授業や児童生徒の登下校の妨げや、近隣に迷惑をかけることがないように心掛ける。当日リハーサル前には、担当の先生、指揮者、司会者、音楽主幹、ステージマネージャー、インスペクター、本事業担当で進行打ち合わせを行い、スムーズな進行に努める。</p>
--	--

令和6年度「舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）」

公益財団法人九州交響楽団



当楽団は企画にテーマを掲げ、企画意図を明確にし、ワークショップから本公演まで一貫性のあるテーマでプログラムを構成します。

理解しながら名曲を聴くことができるよう、分割演奏や楽器紹介、作曲家や作品の時代背景を分かりやすく説明したナレーションを交え、児童生徒の芸術鑑賞能力の向上に繋がります。

『企画名・本公演メインプログラム』

令和元年度 『体感オーケストラ!』 ～ 拍子とリズムをマスターしよう ～
ストラヴィンスキー／バレエ組曲「火の鳥」(1919年版)

令和2年度 『踊る!大管弦楽団』 ～ 踊りを通して世界の文化にふれよう ～
ファリャ／バレエ音楽「三角帽子」 ※新型コロナウイルス感染予防のためプログラム変更

令和3年度 『情景描写』 ～ 情景を心に浮かべ、想像しながら聴いてみましょう ～
グリーグ／音楽物語「ペール・ギュント」

令和4年度 ～ 踊りの音楽を通して世界の文化に触れよう ～
バーンスタイン／「ウェスト・サイド・ストーリー」セレクション

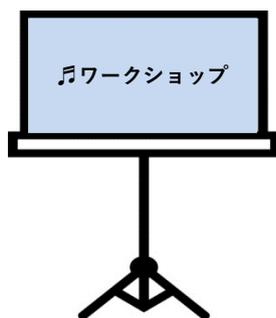
令和5年度 ～ オーケストラで聴く音楽の色彩レシピ 喜びと哀しみ ～
ドヴォルザーク／序曲「謝肉祭」

令和6年度「舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）」

テーマ：世界の名曲で拍子とリズムをマスターしよう！

< 鑑賞指導 >

「本公演を100倍楽しむ！」ための『聴き方』を学びます。



・『ドレミのいろは』

「ドレミファソラシド」の呼び方が国によって異なるなど、「音の構成」や、色々な「音階」を分かりやすく説明します。

・『音楽の基本』

これを知ると色々なジャンルの音楽が楽しくなります！

演奏を聴いてもらい、「メロディ」に「ハーモニー」が加わり、そして「リズム」に乗って音楽が進行する仕組みを感じてもらいます。また、「拍子やリズム」について、身近なもの（例えば、時計の秒針や心臓の鼓動）を使ってリズムを説明し、その最小単位の拍が一定数集まってできたものが拍子である事を分かりやすく説明します。同じ拍子でもテンポや作曲家の個性で音楽の雰囲気が大きく異なる事を演奏を通して感じてもらいます。



※メロディやハーモニーを感じながら鑑賞



< 実技指導 >

プロオーケストラとの共演という貴重な体験を充実したものにします。

『指揮指導』

- ・「お手本DVD」を観て拍子やリズムを説明し、指揮体験のイメージを持ってもらいます。
- ・ピアノと弦楽器等を指揮して、本公演でオーケストラを指揮する練習を行います。
- ・「お手本DVD」を実施校へ貸与し、本公演での指揮体験に向け練習を進めてもらいます。

『打楽器でオーケストラと共演』

- ・共演曲を聴いてもらい共演のイメージを膨らませてもらいます。
- ・基本的なリズムや掛け合い演奏を分かりやすく説明し共演の練習をします。
- ・本公演での共演に向け練習を進めてもらいます。



※指揮お手本DVD



※打楽器共演の練習



♪本公演

指揮 = 太田 弦 (九響首席指揮者)

司会 = 西 けいこ



管弦楽 = 九州交響楽団



<プログラム>

様々な拍子とリズムの作品を演奏し音楽の多様性に触れるきっかけを創出します。
同じ拍子の作品でもテンポや雰囲気や印象が全く異なる事を体感できます。

1. モーツァルト／歌劇「フィガロの結婚」序曲 4分の2拍子

最も親しまれているオペラの一つ。テレビドラマでも使用され耳馴染みのある作品です。

2. ベートーヴェン／交響曲 第6番「田園」 第1楽章 4分の2拍子

この交響曲はベートーヴェン自身により各楽章に標題が付けられました。
第1楽章は「田舎に到着したときの晴れやかな気分」、
自然の豊かさと落ち着きが曲に表れています。

3. 〔楽器紹介〕 山本和彦編 フォークダンスメドレー マイムマイム (イスラエル民謡) ~ オクホマミキサー (アメリカ民謡) ~ ジェンカ (フィンランド民謡)

当楽団がオリジナル編曲した楽器紹介曲で、
オーケストラで使用する楽器やその特徴を紹介します。



※世界の民謡にのせて
オーケストラの楽器を紹介

4. アンダーソン／ワルツィングキャット 4分の3拍子

3拍子のワルツ曲。ヴァイオリンが子猫の愛らしい鳴き声を表現しています。

5. マスカーニ／歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より 間奏曲 4分の3拍子

イタリアオペラの代表作。ゆったりとしたテンポが描く情景を彷彿させます。

6. 〔指揮者体験〕 ♪

モーツァルト／歌劇「フィガロの結婚」序曲の冒頭部分 4分の2拍子

オープニングに演奏した作品の冒頭部分でオーケストラを指揮体験します。



※指揮者による指揮指導



※オーケストラの指揮体験

7. 〔打楽器でオーケストラと共演〕 ♪

小学校…エルナンデス／エル・クンバンチェロ

中学校…プラード／マンボ no.5



8. 楽器紹介を交えたバレエ組曲「火の鳥」の曲目解説

楽器を効果的に使い、ストーリー性、色彩感に溢れた作品です。

様々な場面が展開される作品をより理解を深めながら聴くことができるよう、ナレーションや楽器紹介を交えながら解説します。

9. ストラヴィンスキー／バレエ組曲「火の鳥」(1919年版)

場面毎に異なる拍子で演奏されており、

本事業の企画テーマである様々な拍子とリズムを感じることができます。

E.C.オーケストラの演奏で校歌合唱 ほか ♪

♪=生徒共演プログラム



※オーケストラの伴奏で校歌合唱



※No. 2_別添Ⅱ【出演予定メンバー】

桂冠コンサートマスター

ソロコンサートマスター

コンサートマスター

アソシエートコンサートマスター



©大塚道治



第1ヴァイオリン



有吉 幸乃 飯田 拓斗 大山 佳織 小田 葉月 佐藤 仁美 樽見 かおり 葉石 真衣 李 軍

第2ヴァイオリン



阿部 幸奈 荒川 友美子 小野本 福子 榊 裕子 貞国 みどり 佐藤 美和 竹下 芳乃 永田 由美 南 奈葉 ◎山下大樹

ヴィオラ



黒川 律子 猿渡 友美恵 田邊 元和 橋本 和樹 ◎細川 泉 矢島 千愛 ブライアン・ルー

チェロ



飯塚 雅史 清水 潔子 白水 大地 鈴木 淳 宮田 浩久 ◎山本 直輝

コントラバス



井上 貴裕 竹本 規矩也 皆川 直輝 山本 和彦

フルート



◎大村 友樹



八木ちはる

オーボエ



◎佐藤 太一



徳山 奈美



裏 紗蘭

クラリネット



荒木 こずえ



◎宇根 康一郎



松本 努

ファゴット



草野 雅行



埜口 浩之

ホルン



岡本 秀樹



木村 睦美



佐々木 悠子



瀬尾 達也



林 伸行

トランペット



小野本 明弘

◎松居 洋輔

トロンボーン

バストロンボーン

チューバ



◎高井 郁花

山下 秀樹



古荘 恭英



鈴木 浩二

ティンパニー&パーカッション



伊藤 拓也

黒川 英之

◎森 洋太

吉永 優香